



エアコンクリーニングキャンペーン中！

今年もまた暑さの到来が早く各地で真夏日を記録する所もあり、体調を崩されたりしていないでしょうか？彩花は仕事のポイントとして、お掃除に入る前、終わった後の電話、訪問を欠かさないようにしています。このことを通じてお客様との関係が信用から信頼に変わっていくのがわかり、スタッフの成長にも繋がっているようです。「商いの原則」を忘れないようにデジタルとアナログを取り入れ、時代の変化に対応して経営に携わっていきたいと思います。



ガクアジサイ

作業でなく仕事とは・・・

いつも同じやり方をしていたら、コツを掴み技術は習得できますが、それでは本当の仕事は望めません。常に何かやろうという一歩先のことを考えて、仕事をする事で本当のお客様ができるのです。それにはお客様から喜ばれる仕事を見つけ出し、お客様との関係を深めていくことです。喜ばれる仕事を勘違いして、お客様の要望のみ対応してはうまくいきません。お客様はお掃除を我社にどうして依頼しているかを考えるのです。キレイにして貰う為にプロをお願いしているのに、自身がなさそうな対応では信用を失うのは当たり前です。お客様が望んでいるのは何か、問題点は何かを見つける。それが本当のプロの仕事なのです。挨拶と笑顔の明るい受け答えをして、お客様にきちんと対応していけば、そこからコミュニケーションがうまれてお互い共通の話題が広がり、お掃除と繋がり、喜ばれる仕事が出来て信用も生まれるのです。これが作業でなく本当の仕事なのです。



彩花新聞が心の癒しになれば

中学校からの友人H君のお陰で彩花があると思っています。H君は1985年に「平野酒店」として出発しました。時代の流れで酒の量販店に、その後、食品スーパーと統合へ・・・現在は新鮮市場をやっています、とても優れている友人です。その店舗のお掃除をさせて頂いたことが彩花を始めるきっかけになり、今があります。本当に感謝しています。その彼が体調を崩しているので心配でなりません。毎月、彼の会社に「彩花新聞」を届けに行っています。事務所にられる奥様に渡していますが、その新聞を事務所の入り口の柱に貼ってくれています。スタッフさんにも見て頂いて、長いお付き合いに感謝しかありません。H君もこの新聞を見て心の癒やしになっているなら嬉しい限りです。早く良くなって、色々な昔話が出来のを楽しみにこれからも彩花新聞を持って訪問します。



生きた金銭とは

毎日の生活から切り離すことが出来ない金銭ですが、その使い方によって、「生きた金」「死んだ金」になると言えるでしょう。無駄使いや浪費という言葉に代表されるように、生活する上で必要のない部分に大きく費やした金銭は「死に金」と言えるかもしれません。ストレス解消のための衝動買いや、過度のギャンブルなどでは、一時的に欲求は満たすことはできても、家族を苦しめる場合さえあります。では生きたお金の使い方とは、どのようなものでしょう。浪費を極力しないのはもちろん、支払うべき金銭は喜んで出すことです。さらに、「本当に必要な時に出す」「家族や周囲が喜んでくれるのに出す」など、明確な意志を持って金銭を使えれば、それは最上でしょう。支払った後に気持ちよく、すがすがしい思いになれるなら、それは「生きた金」なのです。充実感や満足感が得られるお金の扱い方を心にしたいです。



猫とばあちゃんの話

■幸せのお裾分け

最近では世界中が猫ブームなようです。YouTubeはもちろん、Instagram、TikTokなどで猫の可愛い仕草や表情が次々にアップされ、老若男女の人気を集めています。

個人的にもテレビのチャンネルを切り替えていて、「岩合光昭の世界ネコ歩き」(NHK)に出くわすと、ついつい見入ってしまいます。

わが家には4匹の猫がいます。幸せそうな昼寝の姿やのそのそと動く様を見ているだけで、こちらも幸せのお裾分けをもらっているような気分になります。猫が現代人に提供してくれているものは一体なんなんでしょうね？ ストレスや不安を抱えがちな現代人の幸福欲求が猫という存在を求めている？ 身の周りに人形や小さな飾りものがあるとふんわりとした気持ちになるのと同じかとも思ったりします。



■猫ともサービス交換

こうした人と猫の関係に価値やサービスの本質を考えるヒントが隠されているのではと密かに考えています。人間や社会の欲求をみたすハタラクのことを価値やサービスと考え、猫は人に幸せな感情をもたらすサービスを提供してくれていると考えられないでしょうか。そのお返し(“御代”)ということで人間はせつせとエサをあげ、喉元をさすってあげることで猫の欲求に応えている・・・。

これは取引と言っては身も蓋もありませんが一種の交換です。そこには役にたつ・たたないという計算を超え、サービスしたり・されたりという「循環する経済」が成立しているように思います。互いに手助けしあう“お互いさま”の関係です。ただ、そうしたほのぼのの光景が繰り広げられる一方で、地域では愛猫派と嫌猫派のあいだでは小さいいざこざが頻発する状況もあるなど、お互いさまの世界は一筋縄でいきません。

■高齢社会に希望の光

1年余り前の新聞(202号)で、75歳以上のばあちゃんたちが働ける会社をめざす“うきはの宝”が出し始めた「ばあちゃん新聞」のことを紹介したことがあります。

元気なばあちゃんの知恵や経験、生き方にスポットライトをあてることで、高齢社会＝暗いというイメージを塗り替え、面白いことになりそうということでインパクトは広がり続けています。

ばあちゃん健康への関心や、ファッションや趣味といった元気の源についての記事が、シルバー市場が足元にまだまだ眠っていることを気づかせてくれます。不思議なパワーを発散しながら邁進中です。

こういうアプローチがあったのか！という驚きから、うきはのまちの小さな取り組みに全国から連携や共同事業の話が相次いでいるというから凄いことです。読む人に希望を与える「ばあちゃん新聞」は高齢社会になくはない価値を発信し、新たなサービス循環を生み出しています。

「高齢者＝支えられる側」という旧来のイメージから、「自ら行動し社会に貢献できる存在」へと大きくイメージ転換させてくれたことは国民栄誉賞ものだと思います。



■一つの星から始まる

成熟した現代社会にあって人びとは“ほっこり”する大切なものや根源的な価値を求めている――。

猫の話にせよ、ばあちゃん新聞にせよ、そのことを気づかせてくれると感じます。

商品としての便利さやお得感、コスパを超える世界があることを教えてください。

とことんアナログだし気持ちに刺さるかどうかなという感覚の世界です。

「猫」も「ばあちゃん」も小さなアイコンというか星のような存在です。

でも一つの星から星座が立ち上がり、物語が動きだすのです。(らく)

昼寝中の「ペルー」



綺麗にしたい。それならすぐに彩花へ相談してみたら。

お問い合わせ・お見積もりは、お気軽に！

0120-400-225

<http://www.c-saika.jp/>

インターネットで
お得な情報をGET！



あなたの家のお掃除隊

クリーン彩花

福岡市早良区賀茂2丁目5-35-2号